

法遍寺 から大切な 皆様へ

2021年2月1日

日蓮正宗 年間方針

宗祖日蓮大聖人 御聖誕800年の年

法遍寺・天晴寺支部活動方針

人材育成と折伏実践

年間実践テーマ

① 日々勤行・唱題の実践

功德の源泉

一家和樂の信心

② 折伏実践こそ最善の報恩行

御命題達成

誓願成就

③ 寺院参詣と登山で人材育成

無始の罪障消滅

一生成仏

〒488-0881

愛知県尾張旭市城山町三ツ池6075-1

(TEL:0561-54-9226)

相談無料



2021年1月1日の元旦勤行会・永代経の様子

慧光山 法遍寺(えこうざん ほうへんじ)について 住職 近藤道正

法遍寺は、静岡県富士宮市にある「多宝富士大日蓮華山大石寺」を総本山とする日蓮正宗の寺院です。日蓮大聖人様の正しき信仰を人々に弘め、ここ愛知地域の全ての人々が真の幸せをつかむ為に、総本山第67世日頭上人が開基となって、昭和57年6月18日法遍院として設立され、平成20年12月23日には改築され、法遍寺となりました。日蓮大聖人様の出世の本懐である三大秘法の大御本尊に帰依(きえ)し、破邪顕正の布教活動をさせていただいております。

① 講中のみなさまへ

器ものは、覆したり蓋をすれば、その器に水を注いでも水が溜まることはなく、またせっかく注いだ水もその器が欠けていたり、穴があったりでは漏れてしまう。清水を注ごうにも、その器が不衛生では器の用を足さない。よそったものに石や砂が混じればそれを食べることができない。これは大聖人様が秋元御書(1447頁)に仰せのご指南で、覆(ふく)・漏(ろ)・汗(う)・雑(ぞう)のことです。正法を信じないで自己の仏性を開こうとしない人を「覆」といい、正法を聞いても心に納めず忘れる人を「漏」といい、自身の心の汚れから仏法を汚してしまう人を「汗」といい、正しい仏法に邪義をまじえる人を「雑」と仰せられたのです。この四つの欠点のない「完器」であれば、御本尊の功德を受け止めることができます。何より絶対の信心を日々に築くことが大切です。

② 創価学会に籍を置くみなさまへ(創価学会破門の経緯を知らない方へ その6)

平成2年、学会は虚偽捏造の悪口をもって会員を洗脳し、宗門からの引き離しを画策していきました。同年10月、大石寺開創七百年の大法要が盛大に奉修され、またその翌月には宗祖御大会が奉修されました。この御大会の折、池田・秋谷両氏ら5名が御目通りしました。その折、御法主上人より池田氏に対し、正信会問題を発言する際には、その原因となった学会の教義逸脱問題を忘れてはならないと注意がなされ、「権威・権力」という発言が何を意味するものか、また教義の根幹たる「四箇の格言」を蔑ろにするような表現について注意や質問がされました。これに対し池田氏は「邪宗に対すること」としてはぐらかし、また秋谷氏らが口を挟み、核心をすり替える口上に終始したのです。反省の態度のない不遜な態度のまま御目通りが終ったのでした。(次号は学会の昭和52路線)

③ 信仰は何のためにするかを知らない方へ

ある貧女の家には穴蔵があり、大金が貯蔵されていた。そのことを貧女は知らず、貧しく苦勞の連続であった。時にある人が貧女に「どうしてそなたは、このような賤しい身なりをしているのか。この家には財宝が積まれた蔵があることを知らないのか」と。貧女は「自分の家にはそのような蔵はない」というと、その人は「蔵には沢山の塵くずが覆っていて知らないのも当然である。あくたを除いて掘り出しなさい」と言った。貧女はその通りに掘り返し、その蔵を見つけ大長者になった。ここでいう貧女は福德と智慧のない者のことで、我が生命の仏界を涌现できない人々のことです。妙法蓮華経とは私たちの生命の奥底に眠る仏です。正しい御本尊に妙法蓮華経と唱える修行がなければ我が身の如来は顕われません。真実の仏法はあなたの人生を救います。